

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース
- 3面 読者のページ/まんが/パズル
- 4面~5面 テレビがおいしい・放送法問題/女性&メディア/ホットライン
- 6面 声を出すために/母の歴史
- 7面 選挙カフェ/子ども医療費無料に/自然とあそぼう



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

同性婚 もう社会は変わっています! LGBTQの人権守る法、今こそ (性的少数者)



LGBTQ関連法案の成立を岸田政権に求める記者会見で。後列左が松岡さん(2月7日)

同性婚や性的少数者に関する首相や荒井秘書官らの発言

▶2月1日、衆院予算委員会での答弁

岸田首相 (同性婚の法制化について)極めて慎重に検討すべき課題だ。こうした制度を改正することになると、日本の国民全てが大きな関わりを持つことになる。社会が変わっていく問題でもある。全ての国民にとって家族観や価値観、社会が変わってしまう課題だ

▶2月2日の記者会見で

松野官房長官 社会全体に影響を与える問題だ。国民生活の基本に関わる問題で、国民一人一人の家族観とも密接に関わる

▶2月3日夜、首相官邸で記者団に上記の首相発言について問われ...

荒井首相秘書官 4日更迭
社会のあり方が変わる。秘書官室は全員反対で、私の身の回りも反対だ。同性婚導入となると、社会のありようが変わってしまう。国を捨てる人、この国にはいたくないと言って反対する人は結構いる。隣に住んでいたら嫌だ。見るのも嫌だ

日本は、女性が生きにくい国だと感じます。なおかつ、レズビアンである私には共に生活しているパートナーがいます。が、同性であるというただ一点の理由から、何の社会保障も受けることができません。引越す際にも、本当に一緒に住むことができるのかと不安は尽きませんでした。昨年、奈良駅を歩いていて国際女性デーの集会



「私が選んだ」といえる社会へ

奈良 上田 楓さん(27)

同性婚がないだけでなく、夫婦同姓の強制や配偶者同意の問題など、現在の結婚制度は、誰にとっても不安がつきまとう不平等な制度ではないでしょうか。私たちはもっととわがままに、「私が選

が開かれていることを知りませんでした。私にとって母、祖母の世代の女性たちが声をあげ、100年運動し続けてきたことを知り、心から驚き感動しました。それから新婦人に入会し、ジェンダー学習会の運営や自治体のパートナーシップ制度の改善などにとりこんできました。

同性婚で「社会が変わってしまう」との首相の差別発言に怒りが、「多様性認める社会を」「差別禁止法早く」と声をあげる当事者の新婦人会員、一般社団法人fair代表の松岡宗嗣さんに聞きました。

性的マイノリティーへの理解がやっとと広がってきたなと思っていた矢先、政治の中心にいる人たちから、世の中の流れを逆行させるような差別発言がされ、悲しかったです。私も当事者として差別や苦しみがありました。その姿が見えないのか、想像力がないですね。差別する政治家を選んだのは、投票した国民の



怒りを込めて一票を行使したい

長崎 吉村ゆうさん(21)

「んだ」といえる社会を望んでいいと思います。女性の中でも悩みは多様だからこそ、異なる立場の人が共感してくれることで勇気を得られることが

あります。性的マイノリティーの人権保障は当事者だけの問題ではない、女性団体だからこそ、手をつなげるのではないかと思います。(県本部)

問われる政府の人権意識

一般社団法人fair代表理事 松岡宗嗣さんに聞く



当事者の視点からLGBTQに関する情報を発信。著書に『あいつゲイだってアウトینگなぜ問題なのか?』(柏書房)『LGBTとハラスメント』(集英社新書)など。

変わるべきは政府

政府 政権中枢からLGBTQに対する差別発言が後を絶ちません。

松岡 首相の、同性婚について「社会が変わってしまう」という発言は、もうすでに社会は変わっ

G7各国で、法整備がないのは日本だけ

	アメリカ	イギリス	イタリア	カナダ	ドイツ	フランス	日本
同性婚	○	○	○*	○	○	○	×
LGBTQ(性的少数者)の差別禁止法	○	○	○	○	○	○	×
夫婦別姓	○	○	○	○	○	○	×

※イタリアは同性カップルに結ばれた権利を認める(認定の法・紅色ライン)の調査などに基づいて作成

〈2面へ〉

